

執筆のしおり

投稿にあたっては、このしおりに従って原稿を作成してください。

*投稿要領の掲載：①本学 HP[研究活動]、②本研究論集の巻末

1. 論文の体裁

(1) 投稿原稿

- 1) 本学への論文投稿原稿は、PC を使用しデジタル原稿を提出すること。提出するファイルの形式はマイクロソフト Word 形式を推奨する。2(11), 3(2) で示すように、本文の書式を「情報処理学会」スタイルとした場合は、LaTeX 作成のうえ、PDF ファイル提出も認める。
- 2) 原稿は A4 の横書きとする。原稿の長さは下記のとおりとする。なお、ページ数には図表などを含むので、これらのスペースも考慮して原稿を執筆する。表紙も 1 ページとして数える。表紙を除く本文は、2.10 節に示す本文の書式に従った上で、あるいは 1 ページあたり 1,200 字として 40 ページ以内（表紙含む）。
- 3) 読点・句点は、「、」と「。」、「。」と「,」、「。」と「,」のいずれかとし、論文中では混同しない。
- 4) 原稿にはページ番号を明記しておく。

2. 原稿の構成

投稿原稿は、この順序の通りとする。

- (1) 表紙：投稿種別を左肩に明記
- (2) 表紙：論文タイトル
- (3) 表紙：著者名
- (4) 表紙：抄録 (400 字以内)
- (5) 表紙：キーワード(原稿中の主要語句を 5 語以内)
- (6) 表紙：英文タイトル (単語の頭文字は大文字)
- (7) 表紙：英文著者名
- (8) 表紙：英文抄録
- (9) 表紙：英文キーワード
- (10) 表紙：著者所属 (和文、英文)
- (11) 本文(図表を含む)
- (12) 謝辞 (必要に応じて)
- (13) 注・引用文献・参考文献・資料 (必要に応じて)

(1) 投稿の種別を左肩に明記

○原著論文 (original article)

学術上および技術上有効である新しい研究成果を、高い了解性のもとに記述したもの。

○総説(review article)

特定の問題・研究分野に関する内外の文献を網羅的に集めて分析・検討した論文。

○研究ノート (research note)

学術上および技術上有効である新しい研究成果で、前掲「原著論文」と比較すると、新規性または研究途上のため有効性や信頼性に劣るが、早く発表する意義が認められるもの。

○実践報告 (report)

様々な分野における実践結果の報告で、問題設定、手段や過程に新規性は十分なくとも、追試・意見・提案・討論なども含む実践結果から生じた課題や成果に、新規性あるいは有効性が認められるもの。

上記の投稿種別を選び、論文表紙の左肩に明記する。それぞれの投稿種別に対する査読における内容基準は、別紙「査読のしおり」に記載しているので、一読の上、基準を満たすように原稿執筆すること。

(2) 論文タイトル

題名だけで内容が想像できて簡潔なものが良い。サブタイトルにはダッシュ（—）をつける。

例：logos の存在論的構造—ソフィステース研究—

(3) 著者名

共著の場合、著者間を「・」でつなぐ。

例：東京 太郎*・情報 次郎*・看護 花子**

(4) 抄録 (400 字以内)

論文の中心課題と本文の要点をまとめたもの。一文字目は 1 マス空けて書き出し、段落を作らない。

(5) キーワード

原稿中の主要語句を 5 語以内に収めて記述する。

(6) 英文タイトル (単語の頭文字は大文字)

○各単語の頭文字は大文字で表記する。但し、接続詞・前置詞・冠詞・be 動詞 (タイトルの頭につく場合は別) は小文字で表記する。

○名詞、代名詞、動詞、形容詞、従属接続詞、副詞は、単語の頭文字をすべて大文字にする。

○冠詞と等位接続詞と前置詞と不定詞の to を小文字にする。 (ただし前置詞は 5 文字以上だと、大文字にしてもよい)

○サブタイトルには：をつける

例：The Ontological Structure of Logos : Studies on Plato's Sophistes

(7) 英文著者名

英文名の姓はすべて大文字で表記する。共著の場合、3 人目を「and」でつなぐ。

例：Taro TOKYO*, Jiro JOHO* and Hanako KANGO**

(8) 英文抄録

英文で表記。一文字目は 1 マス空けて書き出し、段落を作らない。

(9) 英文キーワード

省略形以外は小文字で表記する。

(10) 著者所属 (和文、英文)

脚注に現在の勤務先・所属機関名・所属部署・連絡先等を記載する。

例：東京情報大学 総合情報学部

Faculty of Informatics, Tokyo University of Information Science

東京情報大学 看護学部

Faculty of Nursing, Tokyo University of Information Nursing

(11) 本文、引用、図表、および参考文献

以下の 3 つの学術雑誌投稿規程に含まれる書式 (表紙を除く) の、いずれかひとつを採用する。

1) 「情報処理学会」論文誌ジャーナル (IPSJ Journal) 原稿執筆案内に含まれる「論文誌」書式

https://www.ipsj.or.jp/journal/submit/ronbun_j_prms.html

2) 「日本社会学会 スタイルガイド」『社会学評論スタイルガイド』第 3 版

<https://jss-sociology.org/bulletin/guide/>

3) 「日本看護研究学会」執筆要項 <https://www.jsnr.or.jp/contribution/points/> 『APA 論文作成マニュアル第 2 版』[2011、医学書院]

3.英文論文の場合

(1)表紙

英文タイトル

英文著者名

英文抄録

Keywords

和文タイトル

和文著者名,

和文抄録

キーワード

著者所属（和文、英文）

(2)本文、引用、図表、および参考文献

以下の3つの学術雑誌投稿規程に含まれる書式（表紙）の、いずれかひとつを採用する。

- 1) 「情報処理学会」論文誌ジャーナル（IPSJ Journal）原稿執筆案内に含まれる「論文誌」書式
https://www.ipsj.or.jp/journal/submit/ronbun_j_prms.html
- 2) 「日本社会学会 スタイルガイド」『社会学評論スタイルガイド』第3版
<https://jss-sociology.org/bulletin/guide/>
- 3) 「日本看護研究学会」執筆要項 <https://www.jsnr.or.jp/contribution/points/> 『APA論文作成マニュアル第2版』〔2011、医学書院〕

